

製品名: PGC1 ベータ (19E7) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe16024**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, IP 1:10-1:100
分子量	113kDa

抗原情報

遺伝子名	PPARGC1B
別名	PERC; PGC1; PPARGC1; Ppargc1b;
遺伝子 ID	133522.0
SwissProt ID	Q86YN6
免疫原	ヒト PGC1 ベータの合成ペプチド

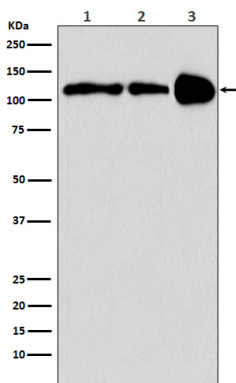
背景

転写因子および核内受容体の活性を刺激する役割を果たします。グルココルチコイドの存在下で、エストロゲン受容体 α 、核内呼吸因子 1 (NRF1)、グルココルチコイド受容体の転写活性を活性化します。転写因子および核内受容体の活性を刺激する役割を果たします。グルココルチコイドの存在下で、エストロゲン受容体 α 、核内呼吸因子 1 (NRF1)、グルココルチコイド受容体の転写活性を活性化します。過剰発現すると基礎酸素消費量およびミトコンドリア数が増加することが示唆されるように、構成的な非アドレナリン媒介性ミトコンドリア生成に役割を果たす可能性があります。脂肪酸化および非酸化的グルコース代謝、およびエネルギー消費の調節に関与している可能性があります。骨格筋で ESRRA 依存的に PERM1 の発現を誘導します。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) マウス脾臓溶解物、(3) ラット脾臓溶解物における PGC1 β 発現のウエスタンブロット解析。